

月潟コミュニティ協議会会報

18.12.31
第37号



月コミ通信

■発行責任者
月潟コミュニティ協議会
会長 田邊金一
新潟市南区月潟535番地
TEL. 372-6905



月潟地域 自主防災訓練を実施

▲ 各自治会長からコミ協会長へ連絡訓練

11月4日(日)午前8時15分から月潟中学校体育館にて「月潟地域自主防災訓練」が行われました。

長岡西縁断層帯でマグニチュード7.0の地震が発生、南区で震度6弱を記録し、避難所が開設されるという設定で、防災行無線線で避難の呼びかけを行い、自治会ごとに月潟中学校体育館に避難をしました。

各自治会の避難者が集合したところで、情報伝達訓練、月潟小・中学校から災害時の生徒の受け渡しについての説明、中越防災安全推進機構による「避難所運営と地域の関わりについて」と題した講演が行われました。その後、防災体験として中学校生徒による新聞紙を利用した「紙コップづくり」や「スリッパづくり」、消防団による「三角巾づくり」が行われ、参加した皆さんは真剣に作っていました。

皆さん災害時の備えは大丈夫ですか？



▲ 消防団による「三角巾づくり」



▲ 中学生による新聞紙を使った「皿づくり」「スリッパづくり」

「月コミ」日 懇談会

◆開催日時：平成30年8月25日(土) 15時～17時
◆開催場所：月潟地区公民館 大会議室

8月25日(土)、月潟公民館において「月コミ」日懇談会が開催されました。

懇談会には約20人が参加し、渡辺区長ほか南区担当課長らと活発な意見交換がおこなわれました。

〈質疑概要〉

地域の茶の間について

Q 現在、2と7の定期市に「お休み処獅子の里」を設置しており、平成30年度から「地域の茶の間」として補助金を交付してもらっている。

A この場所は所有者が来年2月に解体する予定で、現在の場所から移転継続を考えているが、施設整備面も含め、どのような支援ができるかお聞かせ願いたい。

A 週1回以上活動していたとき、介護保険の総合事業で対応しているのは「獅子の里」が初めてであり、非常に期待していますので、これ



▲ 2、7の定期市に設置している「お休み処獅子の里」

からも続けてほしいと思います。茶の間の施設面での助成ですが、空き家を利用する場合、市ではリフォームに係る経費の助成を行っています。上限100万円とし、経費の半額補助となりますので、検討いただきたいと思います。

利用にあたっては、月潟出張所や健康福祉課にご相談いただきたいと思えます。

角兵衛獅子を活用した交流人口の増加について

Q 角兵衛獅子は月潟地区の伝統芸能であるが、いまだに市内でも知らない、見たことがないという人が多い。市内外を問わず、角兵衛獅子のPR、活用を行い月潟地区の賑わいを創出してほしい。



▲ 角兵衛獅子を全国的に発信するには？

A 角兵衛獅子は、南区、新潟市を代表する伝統芸能だと思えます。角兵衛獅子については、全国的に発信していきたいと、いろいろな取り組みを始めています。

9月には「南区伝統芸能フェスティバル」に出演してもらおう予定です。その他、開港150周年のパートナー事業と連携をしたり、いろいろな機会でも周知していきたいと思えます。どんなかたちで情報発信をしていくことが効果的かと常に考えていますので、地元として提案があればいただきたいと思えます。また、「月潟を元気にする会」を作っていたとき、グッズ作成やボランティアガイドを育成して



▲ 腐食の進んだ看板

いただいていることも大きな効果があると思えます。

A 自治協議会提案事業「まちづくり活動サポート事業」等を活用するなど、地域からも交流人口が増えるような取り組みをお願います。区も一緒になって角兵衛獅子を売っていきたく思っていますので、よろしくお願います。

月潟農村環境改善センターについて

Q 月潟農村環境改善センターは角兵衛獅子の重要な拠点であり、月潟に来られる観光客のためにも次の対応をお願いしたい。



▲ 屋根のない駐輪場

① テニスコート側の看板の腐食が進み、最上段の角兵衛獅子のイラストが見えにくくなっている。看板の錆びた破片が落下している状態であり、早急に修繕してほしい。

② 駐輪場はフレームのみで屋根がない、冬場にホール屋根の雪が落下してくることから、撤去されたとのことだが移設してほしい。

A ① 看板については、今年中に直したいと思います。

② 駐輪場については、冬の間は使用禁止にして、別の場所に駐輪スペースを確保するという方法で対策を考えています。



角兵衛獅子のイラスト ▶

Q 角兵衛獅子を宣伝していくひとつのツールとして、農産物の箱や製品のラベルなどにイラストを使用できないか。

A 月潟を元気にする会、コミ協などが権利を持ってラベルを作り、一般の方々から使っていたら、一般の方々に使ってもらいたく事ができないか。

Q 角兵衛獅子を宣伝していくひとつのツールとして、農産物の箱や製品のラベルなどにイラストを使用できないか。

A 月潟を元気にする会、コミ協などが権利を持ってラベルを作り、一般の方々から使っていたら、一般の方々に使ってもらいたく事ができないか。

角兵衛獅子のイラストについて



▲ 渡辺区長ほか担当課長らと意見交換

Q 農環センター付近の雑草がひどいが、観光客の方をきれいな状態で迎えたほうがいいのではないか。

A 来週から、農環センター、中学校の脇からカントリーエレベーターに向かう路線、大別当地区の歩道、月潟橋を渡り降りていくところ、人家のないところなどの幹線道路の歩道のある境界線石の草取りをする予定です。

農道にもありましたら、農家の団体が多目的な活動のなかで草取りも行いますのでお聞かせください。

道路脇の草について



▲ ガイドさんの案内で牧之通りを視察

11月16日(金)、月潟コミュニティ協議会と自治連合会で、朝日酒造と塩沢の牧之通りを視察しました。

朝日酒造では、日本酒の製造現場に実際に足を運び、近代化された設備に驚きながら、酒造りや歴史、酒造りのこだわり等のお話しを伺いました。

その後、江戸時代後期に越後の雪国の生活を記し、ベストセラーとなった「北越雪譜」の著者鈴木牧之の記念館を見学。そして生誕の地であることから名付けられた「牧之通り」へ向かいました。観光ガイドさんから説明を受けたながら「雪国の歴史と文化を活かすまちづくり」をコンセプトに創られた美しいまちなみを散策しました。

現代的な効率の良さと清潔さと歴史・伝統をうまく調和させた、「酒造り」「まちづくり」を見学し大変有意義な研修となりました。

コミ協・自治連合会合同視察研修

月潟地区敬老会

9月15日(土)、農村環境改善センターにおいて、月潟地区敬老会が開催され、招待者の長寿と健康をお祝いしました。

当日は、あいにく朝から雨模様で、招待者の出足が危ぶまれましたが、次第にお天気も回復に向かい、送迎バスが到着する頃には雨もあがり、招待者、来賓、アトラクション出演者など、総勢220人程度の参加となりました。

式典後の恒例のアトラクションは、前年度に引き続き、社会福祉法人新潟南福祉会から「劇団RⅡ」の団員を招き、「地域で支えあい元気に過ごしましょう」をテーマに、招待者も参加しながら、楽しい寸劇を披露していただきました。

月潟保育園年長さんたちは、「ぼよん行進曲」「U・S・A」といずれも今年流行した旬の楽曲を使用し、元気いっぱい可愛らしくお遊戯しました。

お待ちかねの祝宴では、地元民謡3団体の皆さんによる演奏や踊りを堪能しながら、お酒やお弁当を楽しみ、歓談したりくつろいだり、みなさん思い思いに秋の一日を過ごされていました。



▲「劇団RⅡ」の寸劇



▲和やかな敬老会となりました

月潟地区総合文化祭

月潟地区総合文化祭が10月21日(日)、月潟中学校体育館で開催されました。当日は月潟小学校・中学校の文化祭も同時開催されました。また、出展作品については書道、陶芸、手芸、工芸、絵画、写真など、昨年度を上回る月潟の芸術家の作品が約145点展示されました。

毎年恒例の月潟鎌組合による「刃物研ぎコーナー」やJ.A女性部による「農産物即売会」も盛況で、当日は晴天にも恵まれ子どもからお年寄りまで大勢の方で賑わった1日となりました。

みんなで育てる地域の子ども集会

11月15日(木)、「みんなで育てる地域の子ども集会」が、月潟中学校で開催されました。集会の第1部は青少年育成協議会による「小中学生の意見発表会」、第2部は小中学校保健委員会による「食育講演会」を行いました。

意見発表では小学4年生から中学3年生までの代表者8名(中学3年生は3名)が日頃思っていることや、月潟の未来について意見を発表しました。自分の考えをしっかりとまとめ、発表する態度も堂々として頼もしく感じられました。

第2部では新潟調理師専門学校 学院長 吉田育子様から「マナーを学んで楽しい食事」と題して講演していただきました。子供たちの将来を見据え、最低限のマナーが身につくよう、食べ物やそれに携わった様々な人への感謝の気持を身に着けることができました。



▲“月潟の未来について”意見発表してくれた皆さん



▲145点の月潟の芸術家の作品が展示されました

これからの予定

元旦マラソン

日時：1月1日(祝) 午前10時
月潟小学校スタート
沿道のみなさん、ご声援お願いします。

月潟地区講演会

日時：2月3日(日)
午前9時30分開演
午前10時開演
会場：月潟中学校 ランチルーム
講師：伊勢みずほ様
(フリーアナウンサー)
BSNテレビ「水曜
見ナイト」メイン
キャスター他



演題：「ふるさとの魅力再
発掘！ あなたも一
緒に行ってみずほ」

※月潟出張所にて入場整理券(無料)をお求め
ください。受付は1月8日(火)～
※この講演会は新潟市地域活動補助金によるも
のです。

月潟地区芸能祭

日時：3月10日(日)
午前9時30分開演
会場：月潟農村環境改善センター
主催：月潟地区文化協会

地域で活動されている団体の皆さんから歌・踊
り・演奏等が披露されます。ぜひ、お越しくだ
さい。

月潟おはなしの会

「月潟と岡山を結ぶ語りの集い」

開催

10月16日(火)、月潟健康センターを会場に「月潟おはなしの会」発足15周年の記念行事として、「月潟と岡山を結ぶ語りの集い」が開催されました。

岡山県新見市大佐の田んぼに立つ小さなお地蔵さんには、「越後国月潟村行者友吉」と刻まれています。「人柱地蔵」と呼ばれるこの地蔵が伝える物語について、地蔵にゆかりの立石憲利さんと赤岩政司さんを、念願かなって岡山からお招きできました。

第1部では、岡山に伝わる月潟ゆかりの「人柱地蔵」について、おふたりからお話を伺い、第2部では、民話語りの名人立石さんから、岡山の民話を語っていただきました。

地域の皆さんや地域外の方からも大勢ご来場いただきありがとうございました。



▲ 民話語りの名人 立石さん

福祉と健康のつどい

11月17日(土)、月潟健康センターで「福祉と健康のつどい」が開催されました。この事業は、毎年、月潟地区社会福祉協議会と保健会の主催で実施しているもので、70人近い出席がありました。

第1部は、済生会第二病院看護部の大久保幸子さんをお迎えし、「口腔ケアの重要性」について講演を行いました。

口は物を食べて体内に栄養を取るために大切なところであることをわかり易く解説していただきました。

また第2部では、月潟中学校吹奏楽部のみなさんから素晴らしい演奏をしていただき、楽しい時間を過ごしました。



▲ 月潟中学校吹奏楽部による演奏

第20回 大道芸フェスティバル!

9月23日(日)、月潟商店街を会場に大道芸フェスティバルが開催されました。

今年も中国雑技団やジャグリング・アクロバット・バラエティショーなど全国各地から10団体、個人が出演し、パフォーマンスを披露しました。各ポイントには観客の大きな輪ができ妙技に拍手喝采でした。

飲食ブースにも多くの出店があり大勢の人で賑わいました。月潟商工会では北海道月



▲ 様々なパフォーマンスが繰り広げられました ▼



形町のジンギスカンを使った新たなご当地メニューとして、コロケとジンギスカン丼が売り出され、大変好評であったという間に完売となりました。農村環境改善センターでは、角兵衛獅子の舞が披露され、難しい技が決まると訪れた観客が拍手を送っていました。さわやかな秋晴れの下、会場では他にも様々なイベントが行われ、素晴らしい一日となりました。そんな一日を一枚の写真に、と「第2回

フォトコンテスト」を「月潟を元気にする会」が実施しました。入賞作品は月潟出張所内に展示してありますので、ぜひご覧ください。また、月潟コミュニティ協議会は、恒例の北海道月形町のジンギスカン・トマトジュースの販売を行いました。今年も沢山の皆様からお買い求めいただきありがとうございました。

まだ若干トマトジュースの在庫がございます。月潟の定期市に「お休み処獅子の里」内で販売しているほか、月潟コミュニティ協議会事務局でも火・木の午前中に取り扱っております。



▲ クリスマスツリーの飾り付けを教えていただきました



▲ お楽しみの餅つき

12月8日(土)、月潟コミュニティ協議会と月潟地区公民館で共催し、世代間交流事業を開催しました。第1部では、新潟市花育マスターの中野節子さんから、クリスマスツリーの飾りつけを教えていただきました。短時間にもかかわらず、おしゃれなツリーが出来上がり、参加者は大喜びでした。クリスマスには、自作のツリーが、参加者のご家庭を華やかに彩ったことでしょう。

第2部は、楽しみにしていたお餅つきです。家で餅をつく家庭も少なくなり、餅つきをしたことのない子がほとんどです。子ども達は、ふかしたもち米がこねたりついたりするうちに、どんどんお餅に代わっていく様子に驚いていました。子ども達のついたお餅は、活動協力員の皆さんが、おつゆ餅、あんこ餅、きなこ餅などに仕上げてくださいました。当日は世代を超えて楽しいひと時を過ごすことができました。

世代間交流

Xmasツリーと餅つき